



# 梅雨時期の災害に備えましょう

梅雨時期を迎え、大雨や長雨による土砂災害や水害が発生しやすくなります。災害に備え、雨量や土砂災害の前ぶれに注意し、避難方法や避難場所を確認するなど「自分の安全は自分で守る」という気持ちで、日ごろから準備をしておくことが大切です。

## 日ごろの備え

●最新の気象情報をチェックし、正確な情報を収集しましょう

梅雨時期や台風シーズンなど、洪水が起りやすい時期は、特にテレビやラジオなどの天気予報に注意しましょう。

●台風が来たら、家のまわりの点検をしましょう

家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいは傷んでないか確認しておきましょう。

●普段から、非常食や持ち出し用などの避難準備をしておきましょう

非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの（レトルト食品や缶詰など）を選びましょう。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

●自分がどのルートでどこに避難するかを確認しておきましょう

お住まいの地域に避難指示などが発令された場合に備えて、避難場所と避難

経路を確認しておきましょう。

●須恵町防災ハザードマップ、ため池ハザードマップを活用しましょう

今年の4月中旬にハザードマップを全世帯に配布しました。災害の危険個所や災害から身を守るための情報を掲載しています。災害による被害を防ぎ、また最小限にするためには、まず、自宅や地域で起こりうる災害を知ることが大切です。日ごろから家族や地域で話し合い、家から避難所までの経路や家族の連絡先を確認しておきましょう。ハザードマップが届いていない場合は総務課までご連絡ください。また、左記QRコードからも確認できます。



避難とは、災害などを避けて安全な場所へ移ることであり、避難場所に行くことだけが避難ではありません。暗くなって周りが良く見えない状況での徒歩による避難や、すでに増水している川の近くを通過して避難することは大変危険です。状況によっては自宅の2階や近くの頑丈な建物に避難する方が安全な場合もあります。状況に応じて、適切な避難をしましょう。危険が迫ったら、命を守る最低限の行動をとってください。

# 避難指示で必ず避難！

警戒レベル	災害発生または切迫	避難情報など
5	災害発生または切迫	緊急安全確保※1
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~		
4	災害のおそれ高い	避難指示※2
3	災害のおそれあり	高齢者等避難※3
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報(気象庁)

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

✂ キリトリ線 このページを切り取って、普段目につく場所に貼っておきましょう

※1 警戒レベル5は、災害状況の把握などの関係上、必ず発令されるものではありません。  
※2 「避難指示」は、これまでの「避難勧告」のタイミングで発令します。  
※3 警戒レベル3は、高齢者以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備や、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

# 災害に備える チェックリスト

## 1 情報の取得方法を確認



防災行政無線の内容を聞き逃した場合は電話でも確認できます。  
☎ 0120-8940-55

## 2 家に備える「非常備蓄品」

大災害時などは、公的な支援物資がすぐに届かないかもしれません。最低でも3日、可能なら1週間分を備蓄しましょう。実際にライフラインが止まったら、どのような困りごとが起こるか、普段から意識して災害に備えましょう。  
□ 食料や水(最低3日分)×家族の人数分  
※保存期間が長いものを買っておき、消費したら補充しましょう  
□ 生活用品  
※例えばポリタンク、ガスコンロ、毛布、生活に欠かせないものなど

## 3 すぐに持ち出したいもの(非常用持ち出し品の一例)

- 貴重品
  - 現金(要硬貨) 預金通帳
  - 印鑑 免許証・健康保険証など(コピー)
- 避難用具
  - 携帯ラジオ 懐中電灯 予備電池
- 清潔・健康のためのもの
  - 救急セット 常備薬
  - タオル 着替え(下着含む)
- 非常食など
  - 飲料水 乾パン 缶詰め・缶切り
  - 栄養補助食品 あめ・チョコレートなど
- 感染症対策
  - マスク 手指消毒用アルコール
  - せっけん・ハンドソープ 体温計 ウエットティッシュ
- その他
  - 紙おむつ 生理用品 液体・粉ミルク

## 4 避難場所を確認

災害時にいつ、どこへ、どのように避難するか家族で確認しましょう

	いつ	どこへ	どうやって
例(洪水)	警報が出たら	親戚の家へ	祖父母と車で
<input type="checkbox"/> 洪水			
<input type="checkbox"/> 土砂災害			
<input type="checkbox"/> 地震			

# 避難所における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症がまん延する状況において、災害が発生し避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要になります。

災害時には断水により水道水での手洗いができない可能性もあり、避難所など密集した環境下での集団生活により、新型コロナウイルスなどの感染症が拡大するリスクが高まります。

新型コロナウイルスが収束する前に、地震、風水害が起きたらどうなるのか、平時から事前準備および災害時の対応を考えておきましょう。

●本日に避難所へ行く必要がある人を適切に受け入れるための対策

「避難」とは「難」を「避」けることであり、自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。

●十分に換気の実施、スペースの確保など



●十分な換気の実施、スペースの確保など

●手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底

●避難所の衛生環境の確保

●十分な換気の実施、スペースの確保など

●手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底